平成20年度　施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成20年6月　日記入

基本目標	ゆとりある　みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	25130
政策名（章）	第5章　基地全面返還の実現をめざします	評価担当局	企画財政局
基本施策名（節名）	第1節　基地の早期返還と市民のための跡地利用の実現	施策所管課	渉外課
施　策　名	基地周辺対策の推進	課長名	笹野章央

1　施策の目的・概要（目的はわかりやすく記入）

ヘリコプターを含む米軍機の航空機騒音の解消や事故防止の徹底を図るよう関係自治体と連携し、国や米軍に働きかけを行うと共に、基地周辺の生活環境の充実などを求めてゆく。
特に厚木基地の米軍機による航空騒音については、硫黄島を含む他の代替訓練施設への全面移転の実現を国や米軍に求めている。
また、基地周辺の生活環境充実のため、その対策に必要な経費を国が十分確保すること、基地所在市町村への交付金については、制度本来の趣旨である固定資産税に相当する額が交付されることなどについて国に要請を行っている。

2　事業費・人員

（単位：千円）

年度	平成17年度（決算）	平成19年度（決算）	増減の主な理由
事業費	17,519	12,179	
人件費	28,175		
市民一人あたりの事業費（単位：円）	26	17	
合計	45,694	12,179	

＊人件費は、職員一人あたり　H17：805万円、H19：805万円として算定。人口は、66.7万人（H18.4.1現在）、70.6万人（H20.4.1現在）とした。

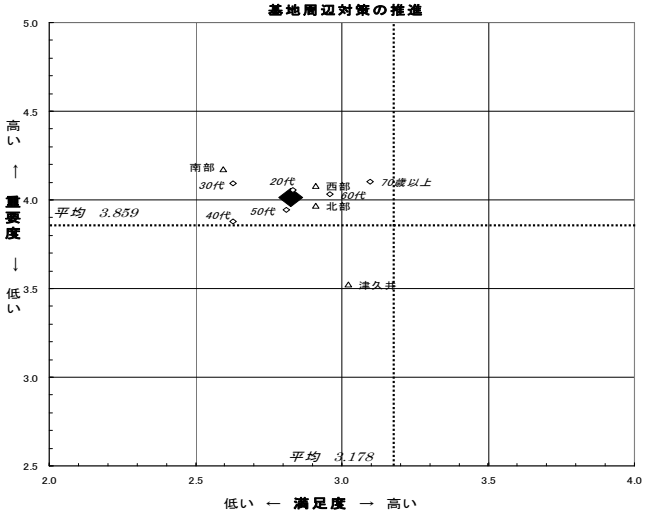
3　成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方（根拠）
指標1	航空機騒音の苦情発生率	H17年度に苦情が1件以上あった日数/該当年度日数*100 （平成17年度を100として以降の年度と比較する）	1年間の内、苦情に結びつくほどの騒音被害の発生日数を、H17年度を基準に1割減らし、年間日数の半分以下に抑制する。
指標2	住宅防音工事の進捗率	工事完了世帯/国への希望提出世帯数 (H17：0件、H18：507件、H19：671件完了。希望提出世帯数は、約6,800件)	年間工事完了件数が初年度の1．5倍程度とすることを目標とし、告示より10年以内での完了を目指す。
指標3			
指標4			
指標5			

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1（単位：%）	H17	100.0	96.0	95.1	94.0		92.0		90.0	
事業費/人員										
指標2（単位：%）	H17	0.0	20.0	17.3	28.5		39.7		50.9	
事業費/人員										
指標3（単位：%）										
事業費/人員										
指標4（単位：%）										
事業費/人員										
指標5（単位：%）										
事業費/人員										

4　市民満足度調査結果（平成20年度実施分）

〇この施策の満足度は2.824で121施策の中で121番目。
〇重要度は4.015で40番目である。
〇改善要望度は0.3605で7番目である。
〇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、30代で最も低くなっている。重要度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。
〇地区別にみると、満足度は津久井で最も高く、南部で最も低くなっている。重要度は南部で最も高く、津久井で最も低くなっている。



5　1次評価（2つの視点から評価を行う）

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回（H18）評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	(4) 2 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 (2) 1	4 (2) 1	
合計		4	評価結果に基づく区分（2項目の合計点数による） A（6点以上）　B（5点・4点）　C（3点以下）	1次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6　課題と解決策（現状または、評価結果から）

課題	ジェット機等の苦情発生日数は減っているが、ヘリコプターの苦情発生日数は増加傾向にあり、全体では目標を達成しているものの、ヘリコプターに関する騒音被害をいかに抑制するかが課題となっている。 また、ヘリコプター騒音は、県内でも相模原市固有の問題であるため、関係自治体との連携が難しい。
解決策	騒音被害の実態を国や米軍に訴え続け、他の代替施設への訓練移転について早期実現を図る。

7　2次評価及び意見（1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入）

	2次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8　3次評価及び意見（評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入）

	3次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

基地周辺対策の推進

コード	25130

構成事務事業一覧

単位：千円

事務事業担当課	構成事務事業	H19決算見込（事業費）	H20予算（事業費）	H21見込額（事業費）	事業効果の高い指標番号	前回の優先順位	H17人員（人）	H17決算額（事業費）	H17合計（人件費含む）
渉外課	基地対策事業（再掲）	12,179	12,913	12,913	1	再掲	3.50	17,519	45,694
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		12,179	12,913	12,913			3.50	17,519	45,694